

令和5年8月1日発行
(2023年)

発行:二本松市議会

編集:議会だより編集委員会



定例会概要 P.2~3
常任委員会審査報告 P.4~5
一般質問 P.6~10



議案第48号・議案第54号

国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について 及び国民健康保険特別会計補正予算案を可決

本市の国民健康保険の現況は、被保険者数が減少している一方で、被保険者一人当たりの医療給付費は増加しており、依然として、厳しい財政運営を強いられている状況にあります。令和4年度決算見込みでは、歳入において収納率の向上により保険税を見込みより多く確保できたことなどから、事業の健全運営を図ることができました。

今回の予算補正については、被保険者の負担を抑制しつつ、確保すべき事業費納付金の財源等が措置されました。これにより医療分、後期高齢者支援金分、介護分を合わせた総額と被保険者及び世帯総数に基づいた一人当たりの税額は、前年度対比で345円、率にして0.4%の減となり、一世帯当たりの税額は、2,984円、率にして2.3%の減となりました。

議案第53号

令和5年度一般会計補正予算案を可決

一般会計補正予算については、国県等補助事業の採択等に伴い必要な予算措置を講ずるとともに、物価高騰対策をはじめ、新型コロナウイルスワクチン接種経費や緊急性の高い修繕費などを主として計上しました。歳入においては、歳出に関連する特定財源をそれぞれ精査の上、計上し、令和4年度決算見込みからの繰越金を6,000万円増額算入しました。

補正予算の主なもの

- | | |
|---|-----------|
| ○住民税非課税世帯に対する電力・ガス・食料品等
価格高騰重点支援給付金給付事業 | 1億4,471万円 |
| ○新型コロナウイルスワクチン接種事業費の増 | 2億8,506万円 |
| ○畜産飼料の価格高騰の一部を支援する農業用飼肥料高騰対策事業 | 3,213万円 |
| ○物価高騰等に伴う生活者支援や地域活力回復のため
商工団体等が実施する事業に対する補助金の増 | 2,180万円 |
| ○農業用施設単独災害復旧事業費 | 1,826万円 |

質疑

議案第53号

令和5年度二本松市一般会計補正予算(第2条「債務負担行為の追加」について)

問 「債務負担行為の補正」の具体的な内容について伺う。

答 二本松駅南北自由通路の調査事項を当初予定より拡大する必要があり、令和6年度の債務負担行為を設定するものである。

※債務負担行為とは…将来の支出をあらかじめ約束する行為のことです。

○市長提出議案とその審議結果

議案番号	件名	結果
第 47 号	福島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福島県市町村総合事務組合同規約の一部変更について	原案可決
第 48 号	二本松市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第 49 号	二本松市東日本大震災による被災者に対する市民税等の減免に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第 50 号	二本松市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第 51 号	二本松市重度心身障がい者医療費の給付に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第 52 号	工事請負契約の締結について	原案可決
第 53 号	令和 5 年度二本松市一般会計補正予算	原案可決
第 54 号	令和 5 年度二本松市国民健康保険特別会計補正予算	原案可決
第 55 号	令和 5 年度二本松市介護保険特別会計補正予算	原案可決
第 56 号	令和 5 年度二本松市茂原財産区特別会計補正予算	原案可決
第 57 号	令和 5 年度二本松市宅地造成事業会計補正予算	原案可決

○委員会提出議案とその審議結果

議案番号	件名	結果
第 4 号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	原案可決
第 5 号	「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書の提出について	原案可決

○請願とその審議結果

受理番号	件名	結果
第 3 号	地方財政の充実・強化を求める意見書提出請願書	採 択
第 4 号	「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める請願書	採 択

常任委員会の審査報告

総務市民常任委員会

工事請負契約の締結について、一般会計補正予算について、二本松市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について

○工事請負契約の締結について（旧下川崎小学校・旧下川崎幼稚園解体工事）

問 当初予算額に対し落札額が約1億円安くなっており、予算額と落札額に開きがあるが、工事内容に変更等はあったのか。

答 実施設計において設計金額の算定を行っていたが、当初予算編成時点では予測が難しく、物価高騰、原油価格の高騰及び労務単価の上昇を最大限見込んだ額で予算を措置していた。入札の執行にあたり、設計金額を精査した上で予定価格を設定しており、最終的な入札結果において落札額と予算額に大きな開きが生じたものである。なお、工事内容に変更等はない。

○令和5年度二本松市一般会計補正予算

問 消防施設設備等維持管理経費について、修繕するサイレンは何基で、予算額にはポールの設置も含むのか。

答 修繕するサイレンは1基で、予算額はサイレン本体及び取付交換工賃の分であり、ポールの設置は含まない。

○二本松市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について

意見 昨今の物価高騰等により市民が苦しい状況下において、国民健康保険税負担額が医療・介護分合わせて前年度から1人当たり345円、一世帯当たり2,984円安くなったことは、市民への配慮があり、職員の方の努力があったことを評価したい。



机上審査の様子

産業建設常任委員会

一般会計補正予算について

問 農業用飼肥料高騰対策事業について、対象となる畜産農家数及び飼育頭数は。

答 畜産農家数は178戸、飼育頭数は乳用牛、肥育牛及び繁殖牛を合わせて3,245頭として積算している。

意見 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を有効に活用し、引き続き市内の経済活性化や物価高騰等への対策を続けてほしい。

問 新規就農者支援事業について、新規就農者8名の地域別の内訳は。また、機械等は何を購入するのか。

答 二本松地域4名、安達地域2名、岩代地域0名、東和地域2名の合計8名であり、主にトラクター、その他パイプハウス、消毒用スプレーヤー、自走式防除機などを購入するものである。

意見 農業の担い手不足が進んでいるため、新規就農者に対するより一層の支援の充実化を図ってほしい。



机上審査の様子

6月12日に付託された各議案は、6月14日及び15日に各常任委員会で詳細な審査が行われ、最終日20日の本会議で、各常任委員長から審査の経過と結果が報告されました。各常任委員長から報告された審査の主な状況をお知らせします。

文教福祉常任委員会

一般会計補正予算について

問 電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金給付事業について、給付金支給時期の見込みは。

答 令和5年度の住民税非課税世帯（最大で4,800世帯）に対して1世帯当たり3万円を支給するもので、早ければ7月中に支給したいと考えている。

意見 対象世帯へ迅速に給付金が支給されるよう事務を進めてもらいたい。

問 市民プール管理運営経費について、軒天の破損に至った原因は。

答 設計業者及び施工業者に確認したところ、強風により軒天の部材が落下したもののだが、これまでの度重なる地震等の自然災害により、プール室内と軒天との間をふさぐ部分に隙間ができ、軒天の内側に湿気が入り込み、部材が劣化したことが原因ではないかとのことであった。なお、今回の修繕にあたっては、これまで使用していたケイ酸カルシウム板ではなく、湿気に強いアルミ製の部材に変更することで同じような破損が生じないように

対応したい。

意見 修繕等行う際は施工方法を十分に検討し、また、地震等があった際にはその都度総点検すべきである。



机上審査の様子



現地調査の様子

～議会改革調査特別委員会～ 常任委員会活動の充実に係る上申書を提出しました!!

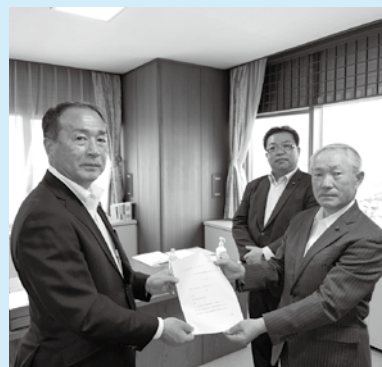
議会改革調査特別委員会では、5月19日、常任委員会活動の充実に係る上申書を提出しました。その内容を紹介します。

要 旨

常任委員会活動の充実

詳 細

- (1) 常任委員会の今期の活動テーマを設けること
- (2) 閉会中の継続審査として所管事務調査を行うこと
- (3) 活動テーマに沿った関係団体と懇談会を行うこと



菅野委員長と坂本副委員長が
本多議長に提出しました

一般質問

市の明日を考える!

6月定例会の一般質問は、6月12日から14日までの3日間にわたって行われ、合計14人の議員により議論が展開されました。

主な質問については、各議員から寄せられた原稿を原文のまま掲載します。



質問者ごとにQRコードを掲載しています。

スマートフォンなどで、読み取っていただきますと録画映像をご覧くださいます。

[発言順]



三木 剛

[無所属]

通常学級の支援を要する児童への支援体制は 教職員の働き方改革は

問 通常学級において支援を要する児童生徒の対応について伺う。

答 授業を行う教員が、支援を要する児童生徒の障がいや学習の困難を理解して個別の配慮・支援を行うことが、最も重要なことと考えるが、通常学級の人数規模では指導の限界がある。そのため、学習の補助及び支援を行う介助員の配置や、管理職等の教員が適宜支援に入るなど組織的に対応できるよう、教育委員会として学校の取組を支援している。子ども、保護者の思

いや願いに寄り添いながら学校と共に解決する姿勢を教育委員会として心がけている。

問 校務支援システムを導入したことにより、多忙化解消につながっているのか。

答 校務支援システムを導入したことにより、大幅な事務処理の軽減が期待されるものである。システムを導入したことで、多忙化解消への取組の状況を可視化できる教職員の管理もでき、システムがスムーズに稼働していけば、多忙化解消へつながっていくと考えている。

火災発生時に不可欠な防火水槽の維持管理は スカイピアアクティブパークの有効活用は

問 過去5年間の防火水槽修繕件数と不具合の修繕対応は市で負担できないか。

答 防火用水施設整備補助金を活用した修繕は14件で、最大修繕費用(杉沢字清ノ内地内新設)は2,277千円(内補助額1,500千円)。過疎化等により地域負担の捻出が厳しいなど考慮し、平成29年度に新設の補助上限額を100万円から150万円に引き上げた。今後も補助金を活用し受益地区において整備願いたい。

問 アクティブパークを使用したクライミング大



武藤 清志

[みらいの風]

会等の開催と県フリークライミング協会との連携による施設の有効活用はできないか。

答 福島県総体及び東北総体が開催されており、県フリークライミング協会はスポーツクライミング部(小・中・高校生対象)の活動拠点として、リード・ボルダリング・スピードが揃っている全国的にも珍しい本施設の有効活用を進めている。また、無料体験型イベントの開催もしており、今後も関係者と連携し施設を有効に運営して参りたい。



高宮 正彦

[真誠会]

ふるさと納税の返礼品は アウトドア事業は

問 ふるさと納税の返礼品の写真掲載方法の改善について伺う。

答 今年度よりふるさと納税代行業務委託を市内の地域商社へ変更し、経済の好循環とふるさと納税の増額を図るため、ポータルサイトの管理や新たな返礼品の企画提案等、地域商社の強みを生かした対応を行っている。写真掲載方法は、返礼品提供事業者の皆様と個別に協議し、委託事業者のノウハウを活用し順次、撮影や写真の加工を進めており、1割程度の返礼品の写

真がりリニューアルされている。

問 アウトドア事業としてRVパークの設置、あだたら高原野営場の冬季活用について伺う。

答 RVパークに認定される条件であるトイレや電源の整備、ごみの受入れ及び処理についても経費を伴うことから、指定管理者と情報交換しながら今後の方向性を研究していく。また、あだたら高原野営場は冬季間の利用者を見込まず、水道の凍結や駐車場、敷地内の除雪など維持管理の負担の課題があり、慎重に検討する。

当市の電力自給率と電気料は にほんまつ城報館の現状認識と改善策は



坂本 和広

[真誠会]

問 電気料金を圧縮させるため市有施設等へ太陽光発電を設置し電力自給率を上げる考えは。

答 市内の公共施設24か所に太陽光発電設備を設置しているが、更に取り組みを推進することで電気料金が高騰する中、電力自給率を上げ、電気料金削減に大いに寄与すると考える。

問 事業予算を捻出するため、「ガバメントクラウドファンディング」を活用する考えは。

答 自治体の課題解決のため寄附金の使い道を具体的にプロジェクト化して賛同者から寄附を

募る仕組みとして可能であると考え、初期投資を抑える手法として調査・研究する。

問 開館して1年間が経過した二本松歴史館の現状認識と来館者を増やす改善策は。

答 二本松歴史館の1年間の来場者数は常設展示室が22,022人、企画展示室が25,059人で合計47,081人。今後はお客様の声をより多く把握し、分析して常設展示室ではテーマ性を維持した展示資料の入れ替えを図り、SNS等を活用して積極的にアピールする。



安齋 政保

[市政会]

消防施設等整備事業は 危険な交差点改良は

問 安達支所東側に計画されている防災公園への地下式防火水槽の整備（設置）は。

答 公園の整備計画については、「油井中央公園」として、「芝生広場」と「安達支所東駐車場」の整備を予定しており、整備の時期については、周辺地域の宅地化の進展や安達駅周辺整備の進捗状況なども十分考慮しながら検討していくこととしており、地下式防火水槽については、必要性も含めて、併せて検討していく。

問 県道福島・安達線と市道根崎・野辺線のCOOPマート付近の変則交差点の改良は。

答 食い違い交差の形となっていることから危険な状態であることは承知しており、県北建設事務所も通常の交差点と比べて変則であると認識している。形状変更を含めた抜本的な道路改良は現時点では難しいところではあるが、交差点内の路面標示や薄層カラー舗装等の施工を行い、より安全な交差点になるよう今後も引き続き、県北建設事務所及び福島県公安委員会と協議を進めていく考えである。

原発汚染水海洋放出の市長の見解は コロナ感染症後遺症の市の対応は



菅野 明

[日本共産党二本松市議団]

問 原発汚染水（処理水）をこの夏にも海洋放出とされているが、令和3年6月議会一般質問でも答弁されたが、市長の現在の見解は。

答 処理水については「国民への説明と理解、合意形成」「海洋放出によらない処理水の新たな処理・保管方法の検討」「風評被害対策と被害発生時の確実な賠償」等が必要条件である。今月7日に開催された全国市長会総会において、ALPS処理水の取扱いについて全会一致で承認され、国に対し強く要望した。

問 コロナ感染症の後遺症に苦しんでいる方々の報道を聞くが市の実態把握は。また市民の日常を守る市の対応は。

答 後遺症の相談についての問い合わせはない。後遺症については、疲労感、倦怠感などが挙げられ、ほとんどは6か月以内に症状が消失する。県では症状が長引く場合、県内136機関ある専門的な医療機関につなぐ体制があり、市としても市民から相談があった場合、相談手順を説明の上、かかりつけ医等の受診を勧める。



佐久間 好夫

[真誠会]

文化ホールの舞台操作・音響照明等業務は 市道百目木・南戸沢線と市道針道・西谷線

問 市内の文化ホール舞台操作・音響照明等業務内容の違いと業務委託のメリットは。

答 市内には4つの文化ホールがあり、規模や設備の違いはあるが、業務内容はほぼ同じである。専門的知識を有する業者や団体に、舞台操作等お願いすることで、利用者が安心して催事を行えることが一番のメリットであり、今後も業務委託を継続していく考えである。

問 市道百目木・南戸沢線の竣工時期と市道針道・西谷線の道路改良着工時期は。

答 市道百目木・南戸沢線の道路改良工事は原工区の延長約200m、幅員4.5mを6.5mに拡幅改良を行うもので、令和6年度完了を目標に進めている。完了後、平工区の延長約110mの拡幅改良工事を計画している。また、市道針道・西谷線の未改良区間約2,100mの改良計画は、長期総合計画の生活幹線道路整備事業として過疎対策事業債を財源に計画し、百目木・南戸沢線の進捗状況等を総合的に判断しつつ、財政計画も十分考慮し、事業着手を検討していく。

二本松駅南地区整備事業のあり方は 部活動の地域移行は



加藤 建也

[無所属]

問 JR東日本や交通事業者等との協議内容、結果はどのように反映させているのか。

答 南北をつなぐ中央跨線橋の架け替え、バリアフリー対応を基本として協議を重ねている。新たな自由通路の位置により駅前広場のバス停やタクシー待機所等の施設の配置も変わることとなり、今後更に協議を重ね、利便性の向上を図っていく。

問 駅南地区の整備事業後の防災対策について伺う。

答 豪雨時の排水処理が脆弱であることから、整備事業の中で駅南住宅団地と駅南広場にそれぞれ雨水を貯留する地下式調整池を設け、防災効果の向上をはかり、災害に強いまちづくりを進める。

問 競技種目によって部活動を統合する考えはあるか。

答 部員が少なく各種大会に参加できない場合は、安達地区内の中学校と合同チームを結成し、大会に参加できることになっている。



佐藤 運喜

[みらいの風]

防犯カメラの設置数、効果及び課題は 道徳教育の指導内容は

- 問** 補助金交付と市単独で設置した防犯カメラの現在までの台数と設置による効果と課題は。
- 答** 設置に係る費用の3分の2以内の額、20万円を限度とし行政区、商店会等の地域団体を対象に補助金を交付しており、台数は、補助制度による設置が本町、若宮、大平各地区に計5台。市による設置が、二本松駅3台、安達駅4台、杉田駅3台、杉田交差点地下歩道に3台の計13台である。カメラ設置により犯罪の抑止や、事件や事故時の警察の捜査で有効

性が確認されている。課題については、個人のプライバシーの保護に配慮した設置及び管理、運用を行うことが重要と考える。

- 問** 道徳科の重点項目と達成度合いの判断は。
- 答** 向上心・個性の伸長、自主自律、思いやり・感謝を重点項目とし、数値評価の判断はできないため、児童生徒自らによる個人内評価を行っている。各家庭とも連携しながら、児童生徒自らが道徳性に係る成長の様子を確かめる評価となるよう学校に助言している。

熱中症から地域住民の命を守るための取組を 自治会等のデジタル化の推進を



小林 均

[令和創生の会]

- 問** 熱中症から住民の命を守るための取組の推進は。
- 答** 熱中症予防行動のポイント、症状と対処法などの情報をSNSやウェブサイト、防災ラジオ等で、市民に周知している。
- 問** 高齢者の熱中症予防への意識醸成の取組は。
- 答** 居宅訪問や様々な場面で、熱中症の危険性と予防についての啓発を行っている。
- 問** エアコン整備・点検の促進と利用控え対策は。
- 答** エアコンの正常作動の確認の注意喚起をしている。また、物価高騰対策として住民税非課税世

帯へ、1世帯当たり3万円の給付金を支給する。学校等の内外での子どもの熱中症防止の取組は。エアコンの設置率は幼・保・小・中で100%。「熱中症警戒情報」発令時は、授業・部活の短縮や中止、保護者の送迎も想定し、対応していく。

- 問** 自治会の地域コミュニティの現状と支援は。
- 答** 過疎化や高齢化の進行で、組織運営が困難な地区がある。支援の可能性を研究していく。
- 問** 自治会の電子回覧板等デジタル化への取組は。
- 答** 先進事例を参考にし、支援の可能性を研究する。



小野 利美

[市政会]

安達ヶ原ふるさと村運営等は 小中学校生の通学時の防犯対策は

- 問** レストラン「よってっ亭」閉店の協議内容は。
- 答** 以前より観光シーズン期間を除く月はマイナス経営となっており、コロナ禍による利用者減少や、光熱費などの物価高騰等により経営が厳しくなり、取締役会で閉店が決定された。
- 問** 再開についての協議は。
- 答** 上記の状況が続いており、回復は見込めないことから再開の判断に至っていない。
- 問** レストラン部門を民間へ貸出しするよう協議しては。

答 レストラン出店について、市内の企業にご検討いただいた結果、通年継続してレストランを出店してもよいとの意向であり、市、市振興公社及び企業の3者で出店に向けて協議を行い、企業側では営業に向けて準備を進めている。

- 問** 緊急時の避難対策と指導は。
- 答** 日常的に不審者への注意を喚起し、防犯教室では「行かない・乗らない・大声を出す・すぐ逃げる・知らせる」ことや子ども110番の家や近くの家へ避難すること等を指導している。

マイナンバーカードの申請取得状況は コミュニティ・スクール事業の現状は



熊田 義春

[市政会]

- 問** 5月末時点の取得者総人数は。
- 答** 5月31日時点で、35,940人、住民基本台帳人口に対する交付率は69.49%である。
- 問** 取得時、取得後に何か困り事や問題となる事がなかったのか。
- 答** コンビニ交付サービスでの証明書の誤交付や公金受取口座が他人のマイナンバーカードに誤登録されたり、マイナポイント事業で別人にポイントが付与されるなどといった問題は、当市において確認されていない。

- 問** 全小、中学校に導入される時期はいつか。
- 答** 令和2年度、大平小学校に初めて導入し、年次計画を策定し計画的に推進している。今年度は市内9小学校、2中学校に導入し、次年度は二本松地域3中学校及び安達中学校への導入を計画している。これにより、市内小・中学校23校全てがコミュニティ・スクールとなる予定である。



平 敏子

[日本共産党二本松市議団]

- 問** 目安となる世帯全体の所得金額は。
- 答** 世帯人数2人親35歳中学1年生借家の場合は所得金額248万円程度。
世帯人数3人親30歳小学3年生3歳児借家の場合は281万円程度。
世帯人数4人両親50歳と45歳中学3年生小学5年生持家の場合は所得金額304万円程度。
世帯人数5人両親50歳と45歳高校1年生中学2年生小学2年生持家の場合は所得金額は360万円となっている。

就学援助の所得(目安)と給食費無償化は 六角川の堆積土砂や草木の処理は

- 問** 給食費の無償化・負担軽減の今後の考え方は。
- 答** 継続的に財政負担が生じることから政策的判断を要するものと考えている。自治体の負担とならない財源確保について、東北市長会などを通して国に要望している。
- 問** 県に六角川の堆積土砂撤去など求めるべきでは。
- 答** 市民が親しめる河川となるよう、引き続き、堆積土砂の撤去、支障木の伐採等県に要望していく。

国民健康保険



斎藤 広二

[日本共産党二本松市議団]

- 問** マイナンバー改定法は来年秋に健康保険証を廃止して申請主義にするもの。全国保険医団体連合会の調査によれば、マイナ保険証を扱う施設の65%でトラブルがあったと回答。うちマイナ保険証で「無効、該当資格なし」と表示されたのが、64.8%。本人が持参した保険証の提示でトラブルを確認した例がほとんどで、患者にいったん10割負担を請求したケースが893件、別人の情報も85件。マイナ保険証をめぐるっては、既に別人の情報が登録さ

- れていた事例が厚労省の調査で7,312件を2月に把握しながら、公表は衆議院で可決以後でした。現行保険証との併用への見解は。
- 答** 全点検が行われており国への要望も検討する。
- 問** 40歳代夫婦と子ども2人の国保税の課税限度額が104万円の年収は。同世帯の給与所得者の保険料は。最高額となる保険料と年収は。
- 答** 年収は1,120万円。同世帯の協会けんぽの保険料が6割の63万円。協会けんぽの保険料最高額が95万円とその年収は1,626万円以上。

6月定例会 討論

討論は、表決の前に議題となっている案件に対し、賛成・反対の意見を表明することをいいます。

請願第4号 「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める請願書

賛成

菅野 明 議員

大震災・原発事故から12年、いまだ事故前の生活に戻れず、経済的理由から就学等が困難な子どもを対象に「被災児童生徒就学支援等事業」が全額国費で行われ、本県では昨年4月時点で約4,900人の子ども達が県内外で避難生活を送っている。

令和3年度からは毎年単年度交付金事業となり、学校現場からも事業継続を望む声が出ている。次年度も被災児童生徒に必要な支援を国に求める請願なので賛成する。

令和5年第3回(5月)臨時会

5月臨時会は、5月1日に開催されました。提出された議案は補正予算等3件で、審議の結果、全会一致で原案承認・可決・同意しました。

主な内容は次のとおりです。

◎専決処分の承認を求めることについて（二本松市税条例の一部を改正する条例制定について）

・肉用牛の売却による事業所得に係る課税の特例や、優良住宅地の造成等のために土地等を譲渡した場合の長期譲渡所得に係る課税の特例について、適用期限を延長するなど、所要の改正を行ったもので、専決処分をしたため、議会へ報告し承認を求めたもの。

◎令和5年度二本松市一般会計補正予算

・物価高騰等の影響を特に受ける低所得の子育て世帯を支援するため、特別給付金の支給に要する経費について措置したもの。

歳出の主なもの

○民生費

・低所得の子育て世帯に対する生活支援特別給付金支給事業 5,997万円

◎二本松市茂原財産区管理委員選任の同意について

門馬 富夫（再任） 菅野 初男（新任） 菅野 康幸（再任） 佐久間 弥兄（新任）
高本 隆一（再任） 伊東 孝（新任） 渡邊 剛（新任）

お知らせ

次回の定例会は9月上旬に開会の予定です。
本会議の傍聴は、市役所6階の議場・傍聴者入口からご案内しています。
皆さまお気軽に傍聴においでください。
市議会だより、または、当市議会に対するご意見ご感想をお寄せください。

市議会だより編集委員会

〒964-8601 二本松市金色403番地1

TEL 55-5143（議会事務局）

FAX 22-6047

E-mail gikaisomu@city.nihonmatsu.lg.jp



議会改革のための意見

令和5年度の二本松市議会議員研修会は、議員の資質向上及び議会のより一層の活性化を図ることを目的とし、青森大学社会学部教授・早稲田大学マニフェスト研究所 招聘研究員 佐藤淳氏を講師に招き、「「議会基本条例」の原点に立ち戻ろう」を演題に開催しました。

この研修を政治家として議員活動をより活性化させていく良い機会と捉えました。

そして各常任委員会でのテーマを決めて活動計画立案から二本松市へ政策提言を行っていく必要性を強く実感しました。

また、今まで行ってきた議会報告会の開催方法を検討し、市民の皆様の意見を広く聞き取れるようにすることから始めてみたいと思いました。

そして、議会報告会の効果検証を行い、次年度以降へよりよく改善していくためのPDCAサイクルを回していくことが大切だと思います。

武藤 清志

基本条例の検証・見直し・改正
市政チェック機能の強化

坂本 和広

委員会として活動計画を立てて、そのテーマに対して各自学び、各議員とディスカッションし、専門家の意見を多く伺った上で、よりよい提言をまとめていきたい。上記の中で、

1. 市民の意見の吸い上げを行う。
2. 市民からの解決策を取り上げる。
3. 市民からの反対の意見に耳を傾ける。

斎藤 徹

現況に合わせた議会基本条例に見直しをする。

佐久間 好夫

委員会の充実
提案された事件の審査のみでなく、検証まで考える。
2年に1度程度で議会基本条例の検証と見直し。

佐藤 運喜

政策立案・提言、条例の検証見直し
会派活動の活発化、意識統一
委員会活動の活発化



講演：「議会基本条例」の原点に立ち戻ろう

安齋 政保

議会基本条例についてもっと深く読み込み、理解することから始めてみるのが大切である。

三木 剛

条例の目的が達成されたかを検証し見直しを次年度に生かす。
そのために第21条の「必要に応じて」を「定期的・〇月に」見直しを実施すると書き直す。
それにより、市民の声を、市民の意見、社会情勢の変化等を取り入れた政策・立案・提言を議員全員で行う。

高宮 正彦

委員会として市民の皆さん（関係団体等）から話を聞いていく。
議員としてもっと勉強していく。



5月12日に行われた市議会議員研修会では、議会基本条例の意義と、議会改革の必要性を理解することを目的とし、各議員が議会改革として挑戦したいことを話し合いました。

各議員が掲げた「挑戦したいこと」を掲載します。

菅野 明

私は、

1. 市民から出された当たり前の請願が通る議会にしたい。
2. 世の中半分は女性、もっと女性議員が多くなる議会にしたい。

鈴木 一弘

委員会の活動を活性化させる
委員会政策立案等ができるように進める
委員会の議論を活発にしていけることで、しっかりと二元代表制の一元として活動できるようにする

小林 均

市民との意見交換の場をこれから年に2回くらい実施し、多様な市民の意見を踏まえた上で、それを議会での政策立案・政策提言へつなげていく。
委員会の中での議員間の議論を活発化させ、委員会・議会としての政策立案・政策提言を行っていく。

加藤 建也

議員の意識改革。

本多 俊昭

議員としての意識改革！

平 敏子

議員として学習に力を入れ専門性を高めること。
市民に対して向き合い、活動を進めていきたい。

熊田 義春

議会、委員会での政策提言・立案が当たり前に行える議員。
伸び代のある議会を目指す。

斎藤 広二

政策立案・提言をする議会としたい。
社会情勢等を勘案しての事業の見直し
市民との意見交換

小野 利美

1. 社会情勢等を検証して議会、委員会での政策立案・提言。
2. 市民との意見交換会の中身（やり方）を見直し、実現。

佐藤 源市

政策立案・提言
各委員会における閉会中の所管事務調査への取組
各委員会における市民との意見交換会の開催

堀籠 新一

1. 議会基本条例を見直すこと。
2. 議会報告会、市民との意見交換会の充実（若者、女性）
3. 委員会での討議を重ねて政策立案・提言を行う。

本多 勝実

議員定数削減
委員会活動の見直し
議員、議会の役割の再認識（資質の向上）

佐藤 有

当局職員はもちろん、議員共々一丸となって市民福祉の向上に努めなければならない。
多様な情報を正確に市民に伝えたい。

政務活動費

各会派が提出した収支報告書等の関係書類は市議会ウェブサイトでもご覧いただけます。

- 政務活動費とは、地方自治法・条例等の規定に基づき、議員の調査研究その他の活動に必要な経費の一部として交付するものです。
- 二本松市議会は、会派に対して1人当たり月額2万円を交付しています。
- 支出残額は、市に返還しています。

令和4年7月から令和5年3月までの政務活動費

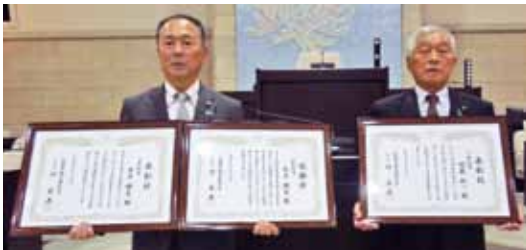
(単位：円)

会派名	真誠会	みらいの風	日本共産党 二本松市議団	市政会	令和創生の会	加藤 建也	三木 剛	本多 勝実	計
結成年月日	R4.7.1	R4.7.1	R4.7.1	R4.7.1	R4.7.1	R4.7.1	R4.7.1	R4.7.1	
会派構成	佐藤 有 堀籠 新一 佐久間好夫 高宮 正彦 坂本 和広 (5名)	鈴木 一弘 源市 徹 斎藤 清志 武藤 運喜 佐藤 (5名) ※R4.12.12 1名減	斎藤 広二 菅野 明 平 敏子 (3名)	熊田 義春 安齋 政保 小野 利美 (3名)	本多 俊昭 小林 均 (2名)	加藤 建也 (1名)	三木 剛 (1名)	本多 勝実 (1名)	
会派への交付額 (A)	900,000	1,020,000	540,000	540,000	360,000	180,000	180,000	180,000	3,900,000
会派の支出合計 (B)	440,639	738,318	498,899	208,037	185,930	0	0	0	2,071,823
内訳		403,620							403,620
調査研究費 (調査先等)		・香川県高松市 ・兵庫県姫路市 ・大阪府東大阪市							
研修費 (研修内容等)	26,429	299,155			145,340				470,924
	・日本自治創造 学会年会費 ・2040未来 ビジョン 出前セミナー in仙台	・地方議会総合 研究所研修会 ・日本橋 ふくしま館 MIDETTE 研修			・2040未来ビジョン 出前セミナーin仙台 ・市町村議会 議員特別セミナー (市町村アカデミー) ・市町村議会 議員特別セミナー (JIAM)				
広報費	388,822		498,899	208,037					1,095,758
資料作成費		1,740							1,740
資料購入費	25,388	33,803			40,590				99,781
収支差引(A-B)	459,361	281,682	41,101	331,963	174,070	180,000	180,000	180,000	1,828,177
会派の自己負担額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市への返還額	459,361	281,682	41,101	331,963	174,070	180,000	180,000	180,000	1,828,177

全国市議会議長会表彰

6月14日に東京国際フォーラムで開催された全国市議会議長会第99回定期総会において表彰された議員の表彰状の伝達が、6月定例会最終日に行われました。

- 【正副議長歴8年以上】 本多 勝実 議長(議長4年、副議長4年)
- 【議員歴20年以上】 故 野地 久夫 氏
- 【正副議長歴4年以上】 堀籠 新一 議員(副議長4年)
- 【地方行政委員感謝状】 本多 勝実 議長



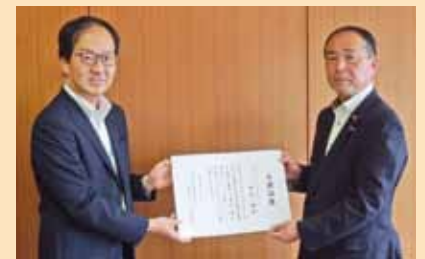
本多 勝実 議長

堀籠 新一 議員



福島県後期高齢者医療 広域連合議会議員

福島県後期高齢者医療広域連合議会議員の補欠選挙において、後任として本多勝実議長が推薦され、5月17日に当選し、同月26日に福島県後期高齢者医療広域連合斎藤政宏事務局次長より当選証書が交付されました。



斎藤 政宏 事務局次長

本多 勝実 議長

編集後記

今年も暑い夏がやって参りました。新緑に包まれ動植物が生き生きと活動しておりますが、我々には地球温暖化の影響もあり体調管理が大切な季節です。市民の皆様にはお身体をご自愛頂きたいと思っております。さて、今年は新型コロナウイルス感染症が5類に分類されてから初めての夏となり、各地域で夏祭りが開催され、コロナ禍前の賑やかな夏になりそうです。そして二本松市議会は新たな挑戦として常任委員会ごとに活動テーマを決めて二本松市当局へ提案等行つて参ります。市民の皆様が安心して住み続けられる二本松を創るため是非二本松市議会の活動にご協力をお願い致します。(坂本)



編集委員会
委員長
副委員長

安齋 政保
斎藤 徹
斎藤 和広
坂本 正彦
武藤 清志
高宮 剛
三木 剛